

広報
まろ

2
2004
NO.601

雪の中にダイビング

雪合戦に雪だるまづくり。

そして、雪の中にダイビング。

気持ちがいいね降りたての雪は。

（写真 校庭で遊ぶ黒坂小学校の児童）



地元の食材を給食に

地産地消の給食は

生産者の顔が見え「安心して安全」

そして地域にも活力を与える

学校給食は「地元の食材を給食に」と、2年前から地元米を使うなど地産地消に取り組んでいます。

現在、食を取り巻く環境は、感染症や農薬問題などとても深刻になっています。だからこそ、安心して安全な給食を届けられるよう「地産地消」が求められています。

学校給食の充実を図ろうと、全国学校給食週間の期間中（1月24日から31日）の1月27日・28日・30日の3日間、学校給食の試食会が、根雨・黒坂小学校、日野中学校で開かれました。

3日間の給食には、地産地消（地域で採れたものを地域で消費）を進めていこうと、地元の大根、ネギ、ジャガイモ、黒米などの食材が試行的に使われました。試食会には、食材の提供者や給食関係者など約60人が参

加。各学校で子どもたちといっしょに話をしながら給食を味わいました。

食材を通じて農業に関心を持ってほしい

試食会に参加した金明真恵さん（小河内）は「初めて給食を食べました。栄養バランスなどいろいろいると考えてあるなど感心しました。1年前から野菜づくりを始めました。給食に出せるようがんばりたい



生産者と児童たちは給食を通じて親密に

いです」と話し、瀬田精豪さん（安原）は「給食の食材を通じて、生産者との距離が縮まり、農業に関心を持つてくれればうれしいです。食の安全性を考えると、地元で採れたものが良い」と学校給食の地産地消が、食の安全性の向上や生産者に活力を与えると話していました。

実際に作っている

ところを見てみたい

地元食材を使った給食について、子どもたちに聞いてみると、「野菜を見たら作っている人の顔が浮かんだ」と実際に

畑で作っているところを見てみたい」などと味以上に多くの反響がありました。

28日の献立には、猟友会員から提供のあったイノシシの肉が使われた味噌汁が登場。子どもたちは「珍しいものが出てびっくり。今日の給食は最高」と喜んでいました。

町内産の食材使用率

1パーセントから9パーセントへ上がる

町の学校給食の「地産地消」は、2年前の地元米の導入から始まりました。

平成14年度に学校給食で使われた食材の使用率（米、牛乳などを除く）は、町内産15パーセント、県内産33パーセント、国内産57パーセント、外国産9パーセントでしたが、昨年の12月には、町内産9パーセント、県内産36パーセントと徐々にその割合は高くなっています。また、平成15年度から肉はすべて県内産に、大豆も外国産から国内産に変えました。



小学校2年生の給食時間



ていねいに育てられた地元の食材に 子どもたちは笑顔いっぱい



おいしい給食ありがとう

檀田大輝さん
(根雨小学校4年生)

やっぱり知っている人が作った物がいいです。今度は畑にも行ってみたいです。給食センターの皆さん、いつもおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。



品質の良いものを提供

長谷川積子さん(舟場)

給食に里イモを出しました。子どもたちの口に入るので、品質の良いものを作ろうとがんばっています。地産地消の給食は、生産者に作る喜びを与えてくれます。

学校給食の地産地消は
始まったばかり

学校給食会では、昨年11月

1日約340食の給食を作っている給食センターの職員は「地元の野菜はとても新鮮で、包丁を入れると音がちがいます。本物の味を知ってほしい」。栄養士の渡部妙子さんは「食は、体と心の健康に深く結びついています。生産者の顔が見える関係が、子どもたちを大きく育てると思います」と地産地消の給食が意味する大切さを話します。

に、生産者と出荷野菜の種類や量などを話し合いました。給食には今まで、白菜、大根、里イモ、冬ガン、キャベツ、サツマイモ、カブなど地元で採れた9種類の食材が出されました。

町の学校給食の地産地消は、始まったばかりで、試行的に行われている段階。年間通じての食材確保や計画的な作付け、生産者との連携などたくさんの課題があります。学校給食会では、給食を「食」と「健康」を学ぶ大切な場として「地産地消」に取り組んでいます。

心と体を鍛える

雪化粧の日野川で寒げいこ



きびきびした動作で型を決める

今年1年の精進を誓おうと、1月25日、真冬の恒例行事になった空手の寒げいこ（全日本少林寺流空手道錬心館阪奈地区本部鳥取支部）が開かれました。

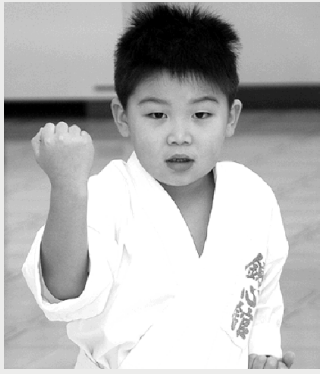
今年で20回目となる寒げいこには、西部地区の道場に通う子どもや大人ら26人が参加。日野農業構造改善センター（鳥取西部農協日野町支所）で、けりや突きなどの基本練習で汗を流し、板やかわらの試割を披露しました。

試割は、それぞれが自分で枚数を決めて挑戦。見事に割れると、応援にかけた保護者などから大きな拍手が起こっていました。

その後、全員が近くの日野川に移動。雪化粧した川の中へ入り、身を切るような冷たい水にも負けず「エイ、ヤー」と大きな掛け声とともに気合



身を切るような冷たい日野川に入り「エイ、ヤー」と気合を入れる拳士たち



空手で丈夫な体に

渡辺大陸さん
(6歳・根雨)

空手を習うようになってから、体も強くなり、かぜもひかないようになりました。もっと練習して、大きくなったら大会に出てみたいです。

長く続けていきたい

佐野友太郎さん
(6歳・津地)

空手の練習は厳しいけど、休まずがんばっています。約1年前から初め、ようやく型も覚えてきました。これからも長く続けていきたいです。



空手を始めてみませんか

錬心館根雨道場は、毎週水曜日(午後7時から1時間程度)に根雨社会体育館で練習をしています。空手に興味・関心がある人は、同体育館まで気軽にお越しください。



を入れて打ち込みをしました。けいこが終わり、川から上がったきた子どもたちは「こんな冷たい川は初めて、でも声を出したら冷たさは感じなかった」と話していました。音田守支部長は「寒げいこを始めて20年。当時、小さかった子も今では立派な大人その成長した姿を見ると、いっしょに空手をやってきたことがうれしいです」と話していました。



冷水をかけられるホトホト役の若者ら

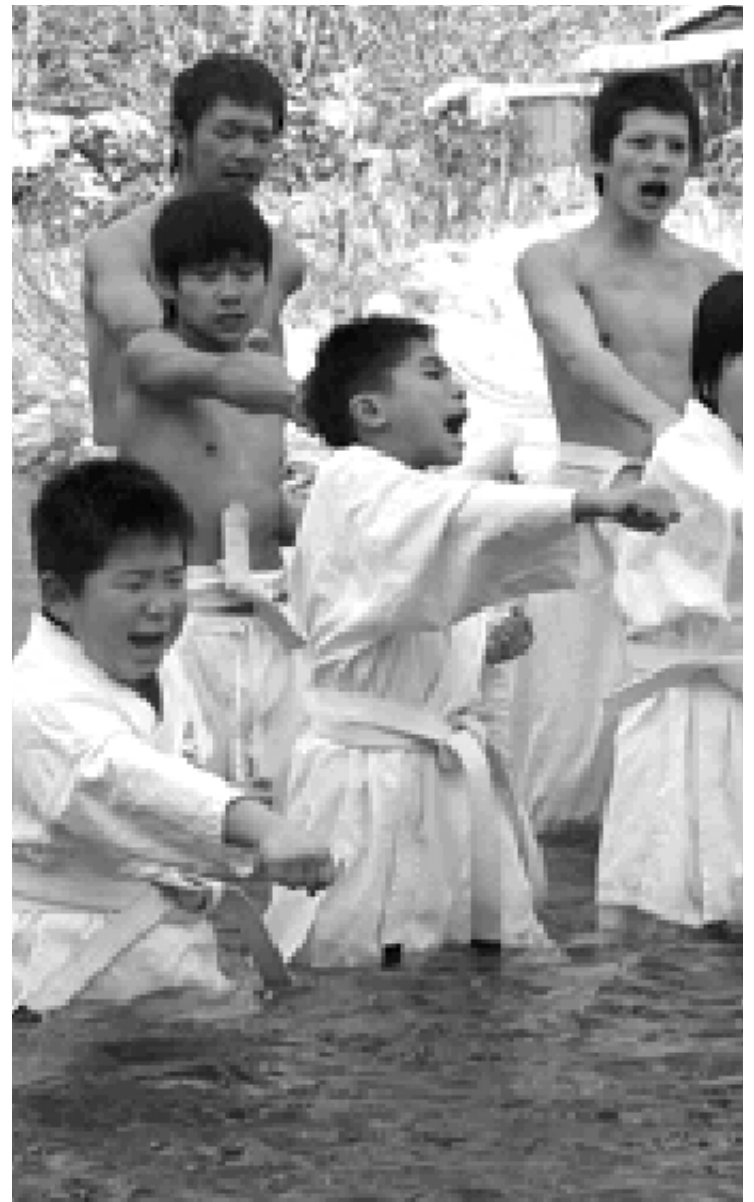
冷水浴びせて厄払い

菅福地区伝統行事「ホトホト」

菅福地区に古くから伝わる厄払いの伝統行事「ホトホト」が、2月7日、同地区内で行われました。

今年、厄年を迎えた7軒の家を訪問。外も暗くなつた午後6時半過ぎ、みのかさを身につけた神様役の若者が、神様が扉をたたく音「ホトホト」と言いながら、わらで作った馬やしめ縄を入れたかごを届けました。縁側に用意された酒や祝

儀を若者が持ち帰ろうとすると、家人が勢いよく冷水を浴びせ1年の幸福を願いました。今年で60歳を迎える稲田喜代子さん(上菅)は「家族全員が健康で楽しい1年になってほしいです」と話していました。「ホトホト」は、神様が厄年を迎えた人の家に厄よけの品物を持って訪問。お礼の品を受け取って帰る時に厄がつかないように水をかける行事です。



みんなの ひろば



元気な掛け声とともにもちをつく児童たち

収穫を祝ってもちつき

根雨小学校もちつき大会

収穫を祝い、元気でい
い年を過そうと、1月19
日、根雨小学校(佐々木史
子校長)で、もちつき大会
が開かれ、児童たちは、も
ちをついて楽しみました。

この日は、全校児童が
学年別に分かれて、60キ
ロのもちを保護者や地域
の人に手伝ってもらいな
がらつきあげました。

できあがったもち
は、昼にぜんざいやきな粉、
雑煮にして食べました。

同校5年生の石田晃一
さんは、小さかった苗から
たくさんのお米が収穫でき
てうれしいです。もちつ
きを楽しみにしていまし
た。おいしくつけたと思
います」と話しました。

もち米は、農業体験学
習の一環として、同校近
くの水田5アールで栽培
しています。

毎年5月になると、全
校生徒で田植えをして、
10月に収穫しています。

心豊かなまちをめざそう

町生涯学習まちづくり大会



意見発表する谷内さん

21世紀のまちづくりを考え
ようと、2月1日、町生涯学
習まちづくり大会を町文化セ
ンターで開き、約170人が
参加しました。

この日は、町内小中学生の

意見発表や講演がありました。
なかでも谷内大樹さん(根
雨小6年)は、困難を乗り越
えようとする高齢者の姿を
見て、「自分も年をとったら前
向きに生きていけるような人
になりたい」と話しました。

講演では、家庭教育力ウ
ンセラーの内田玲子さんが「ど
んなことでも、自分が直感し
たことが答え。それを見つけ
どう使うのか。自分に自信を
持つて行動することが大切で
す」と話しました。



「生活の中に必ず根がある」と講師の内田さん

人権が守られる明るいまちに

人権・同和教育研究会

1月22日、町文化センター
を主会場に第28回日野町人
権・同和教育研究会を開き、
自治会、職場、学校、各関係
団体から約220人が参加し
ました。

参加者は、趙博チョウハクさんの講
演「心の架け橋」を聞いたり
「差別の現実」に深く学び、暮
らしに生かす人権・同和教育
の実践」をテーマに各分散会
に分かれ、積極的に意見を交
わし、人権意識の高揚を図り
ました。



各会場に分かれて積極的に意見を交わす

自然食材のフルコースを味わう

山菜を楽しむ会

町内で採れた自然の食材を味わってもらおうと、2月8日、山菜を楽しむ会（萌会、恩田記子代表）が、町公民館で開かれました。

この日は、町内外から35人が参加。ゼンマイ、フキなどの煮物やわらびの酢の物など約15品の山菜フルコースを味わいました。

食材はすべて、同会員が1年かけて町内で採った物が使われ、参加者は「食材その物の味に改めて感動しました」と話していました。



思考を凝らした料理を味わう参加者

美しい歌声と演奏を披露

日野高等学校定期演奏会

日ごろの学習成果を発表しようとして、1月31日、第2回日野高校定期演奏会が、町文化センターで開かれました。

演奏会は4部で構成され、合唱部、弦楽合奏部、音楽系列を選択している生徒ら約60人が出演。生徒たちは「もみじ」「雪やこんこ」など透き通った歌声でふるさとの四季を合唱したり、ピアノやヴァイオリンの独奏、息の合った弦楽器合奏で美しい音色を披露しました。



生徒たちの美しい歌声が会場を包み込む

碁盤を囲んで熱戦

町新春囲碁大会

囲碁を通じて親睦を図ろうと、2月1日、第26回町新春囲碁大会が、山村開発センターで開かれました。大会には、17人の囲碁愛好者が参加。碁盤を囲み、

2組に分かれて熱戦を繰り上げました。

- 大会結果（敬称略）
- A組 優勝〓遠藤均（榎市）
2位〓小谷三郎（下榎）
3位〓西村正満（下榎）
- B組 優勝〓遠藤基一（根雨）
2位〓森吉紀久夫（根雨）
3位〓金谷豊（根雨）



一手一手集中する参加者

家庭料理から「そば」の消費拡大を

町食生活改善推進協議会が「そば会席」を開く



「栄養バランスも良くおいしい」と大好評のそば会席

巻き「そばサラダ」など、主にゆでたそばを使った約12品。ほとんどの食材が町内産のもので、同会員が彩りや栄養バランスを考えました。

会席に参加した佐々木静子さん（根雨）は「どの料理もそれぞれ工夫されていてすばらしい。さっそく家で作ってみたいですし」と一品一品を味わっていました。

佐々木高子会長は「家庭で簡単に作れるそば料理から地産地消を進めていきたい」と話していました。

この日は、町内から80人が参加。同協議会のメンバーが思考を凝らした「そば料理」を味わいました。会席料理は、牛乳、そば粉、くず粉などで作った「そば豆腐」や「そばのり」が主。家庭料理からそばの消費拡大を図ろうと、2月7日、町食生活改善推進協議会（佐々木高子会長）が「そば会席」を山村開発センターで開きました。

おしらせ

おしどりヘルシー

ウォーク大会参加者募集

大山隠岐国立公園編入2周年を記念して、第1回出雲街道根雨宿おしどりヘルシーウォーク大会を開きます。

【とき】

3月21日(日)
午前10時スタート

【コース】

商工会館前→出雲街道(根雨街道)→金持神社(往復約8キロ)

【参加資格】

どなたでも参加できます。ただし、小学生以下は保護者の同伴が必要です。

【参加料】

一般 11000円 中学生以下 8000円 小学生以下 5000円 当日の申込みは2000円増で先着50人

【申込期限】

3月10日(水)当日消印有効

【問い合わせ先】

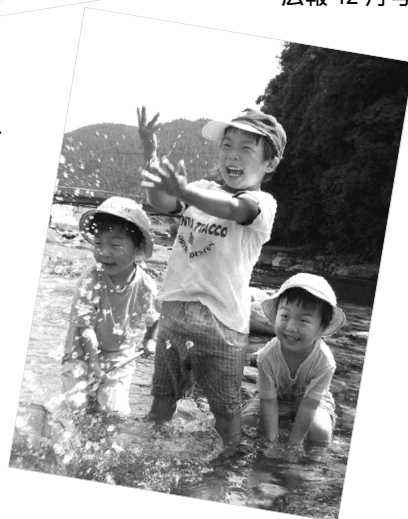
同大会事務局(株式会社まちづくり日野) 電話0859 72 0280

広報ひの特選を受賞

写真も特選



広報 12月号



広報ひの8月号の表紙写真

鳥取県広報コンクール

2月5日、鳥取県広報コンクールが鳥取県庁で開かれ、広報ひの12月号が、広報紙町村2部(1万人未満の部)で特選、写真の部でも特選に輝きました。

広報紙12月号は、菅福元気邑「地域の自立」などを特集したもので、広報紙の部では、13年ぶりに特選になりました。写真は8月号の表紙で、子どもたちが水遊びをしている姿を撮影したものです。

特選の作品は、全国広報コンクールに出品されます。

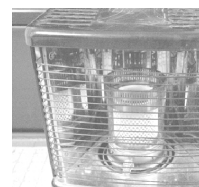
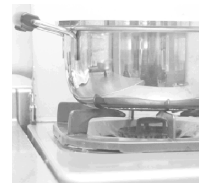
火元を確認しましょう

春季全国火災予防運動

3月1日から3月7日までの7日間は「春季全国火災予防運動」期間です。火災が発生しやすい季節で

す。火の扱いには注意をして、火災の発生を防止しましょう。火災防止3つの習慣

寝たばこは、絶対にしない。



ストーブの近くには、燃えやすいものを置かない。ガスコンロなどのそばを離れる時は、必ず火を消す。火災警報器や消火器などを設置したり、日ごろから地域の協力体制についても話し合っておきましょう。

平成16年度交通災害共済加入受付をしています

現在、平成16年度の交通災害共済の加入受付をしています。この保険は、安い掛け金で、町民の方であれば、年齢に関係なくどなたでも加入できます。

万が一の時に備えて、家族そろって加入しましょう。

【掛金】

1口が1000円で、1人3口まで加入できます。

【保険期間】

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

【問い合わせ先】

役場企画振興課

(電話) 72 0332

きちんと分別が基本

どんどんモノを消費して、大量のゴミを出す。そんな使い捨てる時代はもう終わり。これからは不要になったものも、ゴミにしないで再利用する時代です。3月からは古紙の回収、4月からは冷蔵庫・冷凍庫の回収方法が変わります。ゴミの減量とリサイクルを進め、限りある大切な資源を有効利用しましょう。



ゴミの出し方豆知識

3月から変わります

古紙の回収方法

紙製容器包装の分別を始めます

家庭から出るゴミの半分以上が「容器包装ゴミ」といわれています。県西部地区の13市町村で組織する西部広域行政管理組合では、平成16年度から紙製容器包装（1）の分別収集に取り組みることになりました。

これにより、日野町でも古紙（毎月1回）の回収方法が、今までの5種類から4種類に変わり、紙製容器もいっしょに回収します。それぞれの種類ごとに「ひも」でしばり、古紙シールに名前を書いて収集日に出してください。

古紙の分別種類

【古新聞・折込広告】

今までは別々でしたが、いっしょでも良くなりました。

【古雑誌】

雑誌類・紙袋類・包装紙

【ダンボール類】

ダンボール・紙箱類

【牛乳パック類】

紙パック表示のあるもの（2）

（500ミリット以上の容器）

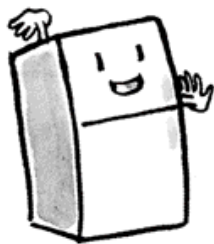
（注意）紙だけでできた容器に限ります。アルミやフィルムの貼ってあるもの、特殊加工してあるものは除きます。



4月から変わります

冷蔵庫と冷凍庫の回収方法

3月は従来どおり、不燃粗大ゴミの収集日に回収します



家電リサイクル法の改正により、新しく冷凍庫がリサイクル品目に加わり、断熱材のフロン処理の設備が必要になったため、今までリサイクルプラザで行っていた処理ができなくなりました。

4月から冷蔵庫、冷凍庫をゴミとして出す時は、小売店でリサイクル料金を支払って処分してください。

それができない場合は、郵便局でリサイクル料金を払い込めば町が回収します。

回収は年2回行い、運搬費用として1000円程度が必要になります。詳しくは、平成16年度「ごみカレンダー」（3月中に全戸配布します）をご覧ください。

なお、3月は従来どおり冷蔵庫、冷凍庫も不燃粗大ゴミの日に回収します。リサイクル券と粗大シールを貼って出してください。

不燃粗大ゴミの収集日

黒坂・菅福地区

3月13日（土）

根雨・日野地区

3月23日（火）

スポーツ安全保険に加入を

保険期間：平成16年4月1日～平成17年3月31日まで

対象団体	掛金（1人）
子どもの団体（中学生以下）	500円
文化・ボランティア・地域活動（高校生以上）団体	500円
高校生以上のスポーツ活動団体	1,500円
老人クラブなどの団体（60歳以上）	800円
危険度の高いスポーツ活動団体	9,000円

スポーツ安全保険は、スポーツ・文化・ボランティア・地域・指導活動をする5人以上の団体を対象に、移動中も含めたグループ活動中の傷害事故や賠償責任を負う事故を補償する保険です。現在、加入を受付けています。

問い合わせ先 日野町教育委員会事務局

（電話 72 2107）

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

図書館情報

カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

○印が休館日です

展示コーナー

オシドリの写真展

3月4日(木)～3月28日(日)

文化センター 舞台技術 ボランティア講座

文化センターで開かれるコンサートなどの催しを裏で支えるスタッフ。舞台照明、各種道具、舞台監督の仕事などを中心に舞台技術を学ぶボランティア講座を開きます。

【テーマ】

舞台はこうして作られる

【とき】

2月25日(水)主に舞台照明

2月26日(木)舞台の各種道具
2月27日(金)舞台監督の仕事

【時間】

午後7時30分～午後9時

【ところ】

文化センターホール

【講師】

トータルステージアドバイザー
角田豊さん

【受講料】

無料(当日受付もできます)

【問い合わせ先】

文化センター(72 1300)

文化センターの催し

アニメ上映会

ドラえもん(時間・料金は1)

のび太のワンニャン時空伝

3月20日(土)

ワンピース(時間・料金は1)

呪われた聖剣

3月28日(日)

1

上映時間

午前10時30分

午後1時30分

料金

大人 1300円

小人 800円

親子ペア 2000円

図書館の催し

布絵本づくり

3月8日(月)午後1時

木のおもちゃづくり

3月14日(日)午前9時

おはなし会

3月27日(土)午前11時

映画上映会

うめ
折り梅



義母がアルツハイマー型痴ほうになったことで、崩壊しかけた家族。さまざまなかっとうを経て家族が再生していく実話の作品。ぜひご覧ください。

とき 3月21日(日)
午後1時～
ところ 文化センター
チケット 500円

そばサラダ

季節の野菜とあわせて――

日野町食生活改善推進協議会の皆さんオススメ料理③

～家庭で簡単に作れるレシピを紹介～

【栄養】

エネルギー 96kcal
たんぱく質 6.4g
脂質 0.6g
カルシウム 27g
塩分 0.4g

【材料】5人分

ゆでそば(1袋)、レタス(2分の1個)、トマト(1個)、ヤリイカ(1杯)、キュウリ(1本)、タマネギ(150g)、パプリカ(2分の1個)、ドレッシング(市販のもの適量)

【作り方】

①トマトは種を取り除き、小さく切る。そばは食べやすい大きさに切る。
②ヤリイカは軽くゆでて切る。

③キュウリは輪切り、タマネギは薄切り、パプリカは千切りにする。
④レタスを敷いて①～③を盛り、好みのドレッシングを添える。

【ひとこと】

そばと生野菜の相性は抜群です。とても簡単で毎日でも作れます。季節の野菜とあわせて、いろいろな「そばサラダ」に挑戦してみてください。栄養価も良く、そば自体にもたくさんの食物繊維が入っていますので、とてもヘルシーな1品です。



3月

くらしのカレンダー

MARCH (弥生)



確定申告の時間
(3月3日以降)
午前：9時～11時
午後：1時～4時
詳しくは広報1月号を
ご覧ください。

1月	不燃・資源ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 固定資産税4期分納期限・国民健康保険税8期分納期限・介護保険料8期分納期限 確定申告日 開発センター 午前=根雨地区補足 午後=根雨地区補足 ----- 健康相談 町公民館 午前9時～午前10時
2火	乳児健診 開発センター 受付：午後1時30分～午後2時
3水	ペットボトルの収集日(1・2・3班) ----- 確定申告日 町公民館 午前=上上菅 午後=福長地区
4木	年金相談 開発センター 午前10時～午後2時 ----- 確定申告日 町公民館 午前=下上菅・中上菅 午後=中菅地区
5金	心配ごと相談・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター 午前9時～午後3時 ----- 人権相談 開発センター 午後1時～午後3時 ----- 確定申告日 町公民館 午前=黒坂6区・小河内地区 午後=黒坂5区 ----- 成分献血 役場 受付：午前9時～午後3時
6土	
7日	
8月	不燃・資源ゴミの収集日(根雨・日野地区) ----- 確定申告日 町公民館 午前=黒坂1区 午後=下菅・黒坂下3区
9火	確定申告日 町公民館 午前=久住・黒坂7区 午後=黒坂上3、4区 ----- 歯科検診・フッ素塗布 開発センター 受付：午前9時30分～9時45分・午後1時から1時15分
10水	ペットボトルの収集日(4・5・6班) ----- 確定申告日 町公民館 午前=下黒坂地区 午後=黒坂2区 ----- すくすく親子教室 開発センター 午前9時30分～午前11時 内容：おやつ作り
11木	確定申告日 町公民館 午前=黒坂地区補足 午後=黒坂地区補足

11木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
12金	
13土	不燃粗大ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 行政相談 開発センター 午前9時～午前12時
14日	
15月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区) ----- 健康相談 開発センター 午前9時～午前10時
16火	
17水	ペットボトルの収集日(7・8・9班)
18木	
19金	
20土	可燃ゴミの収集は休みます (春分の日)
21日	出雲街道根雨宿おしどりヘルシーウォーク大会 根雨～金持神社 午前10時スタート
22月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
23火	不燃粗大ゴミの収集日(根雨・日野地区)
24水	
25木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
26金	
27土	
28日	開発センター休館日
29月	
30火	
31水	

直通電話	総務課	72 0331	企画振興課	72 0332
	地域整備課	72 2101	農林課	72 2102
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103
	給食センター	72 1167	福祉センター	72 2555
	根雨保育所	72 0238	日野保育所	72 1133

住民ふれあい課	72 0333	健康福祉課	72 0334
黒坂支所	74 0211	出納室	72 2105
教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
公民館	74 0212	下榎集会所	72 1191
黒坂保育所	74 0225	夜間・休日	72 0331



姿を変える冬の龍王滝

1月22日、鳥取県内は厳しい寒波に見舞われました。町内でも雪が降り続き、1日中氷点下を記録するなどとても寒い日になりました。

滝山公園内(中菅地区)にある龍王滝(高さ70m)も、この寒波で、勢いよく流れ落ちている滝も大きなつららを作り、神秘的な姿に変わりました。

龍王滝は、2歳の幼児を連れて参ると首がなくなるという伝説をもとに、小泉八雲が小説「骨董」の中で幽霊滝として紹介しています。



「ありがとうございます。大切に使います」と受け取る児童たち

自然を思いやるやさしい心で

町建築協会が町内の小中学校に巣箱をプレゼント

自然を愛する心を育むと、2月10日、町建築協会(西村実会長、10社)が、野鳥の巣箱を根雨小学校の児童に贈りました。贈呈式は、同校体育館で行われ、6年生全員が出席。建築協会の会員から巣箱が手渡されました。藤原一世さん(6年生)が、巣箱は、家や学校の側に置いて、小鳥がいつぱい住める町にしていきます」と児童を代表し

てあいさつしました。巣箱は、町内産の杉の間伐材を使った同協会員による手づくりで、前側に野鳥が入りできる丸い穴が開いています。同協会は、環境保護や子どもたちの情操教育に役立ててもらおうと、巣箱作りに取り組みました。西村実会長は「自然や小鳥のことを思いやるやさしい心を持ってほしいです」と話していました。同日に日野中学校、9日には、黒坂小学校に巣箱が贈られました。

オシドリ

オシドリ案内人

「観察小屋の案内人さん、寒くて大変でしょうが、がんばってください」ねぎらいの言葉をいただきました。

観察小屋では、毎日数人のボランティアが誠意こ案内しています。親切な案内人がいてこそ交流も始まり、発展していくのではないのでしょうか。今シーズンも後1か月、オシドリ8百羽、そして案内人、みんな元気です。

連絡先 オシドリグループ事務局
事務局 森田(72 0271)



「オス、メス、それぞれ何羽?」
撮影 稲田匡宏さん(根雨)

わたしの町

1月31日現在

(前月比)

人口	4,456人 (-10)
男性	2,103人 (-10)
女性	2,353人 (±0)
世帯数	1,565戸 (-3)

届出 1月11日、2月15日 敬称略

赤ちゃん誕生

おめでとございます

1月 (出生児) (保護者) (性別) (住所)
平野菜々子 至朗・尚子 女の子 板井原

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名)	(年齢)	(住所)
1月 坪倉 重壽	86歳	貝原
中原伊佐男	79歳	下榎
2月 宇田 計雄	84歳	下榎
藤原まさよ	95歳	下榎

編集後記 県広報コンクールで、広報紙と写真の部で2つの特選をとることができました。皆さんの取り組みとすてきな笑顔が「特選」。突撃取材にも快く応じていただき感謝しています。これからも、皆さんの「元気」「笑顔」を追い続け、楽しい広報紙作りに励んでいきたいと思えます。春には、全国コンクールでの良い結果を報告できるとうれしいです。 ♪